

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回生涯学習推進センター運営協議会
開催日時	令和2年11月17日（火）午後3時30分～5時00分
開催場所	所沢市生涯学習推進センター 301
出席者の氏名	伊藤 明芳、大月 友、鎌滝 紀和、川地 武、須賀 聡
欠席者の氏名	宮本 八恵子、山田 英徳
説明者の職・氏名	なし
議題	(1) 生涯学習推進センター事業の進捗状況について (2) その他
会議資料	① 次第 ② 資料1 「令和2年度 センター事業の進捗状況」 ③ 所沢市生涯学習推進センター概要 ④ ふるさと研究年報 ⑤ 翔びたつひろば 10月号、11月号 ⑥ 利用にあたっての留意事項 ⑦ チラシ「市政70年のあゆみ」「ところざわ歴史物語増補改訂版」
担当部課名	教育委員会 教育長：大岩幹夫 教育総務部長：千葉裕之 教育総務部次長：市川雅美 学校教育部次長：関根祐一（欠席） 教育総務部文化財保護課担当参事：肥沼位昌 教育総務部社会教育課長：稲田里織 教育総務部生涯学習推進センター 所長：酒井忠夫、主査：赤松正美、 主査：田島直子、主査：久保田由美子、主査：森本悟

様式第 2 号

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>◇開催中の市制施行 70 周年記念特別展見学 ◇事務局の司会により開会</p> <p>◇教育委員会を代表し教育長あいさつ 埼玉が県になって（明治 4 年）149 年、所沢市は 70 周年という節目の年。 コロナに対応しながら事業実施に努めている。</p>
会長	<p>◇会長あいさつ コロナ禍にあって多くの事業が中止となっているが、このセンターが 市民が生き活きと学習できる場になるようご意見を頂きたい。</p>
事務局	<p>◇新年度の着任挨拶 教育総務部：千葉部長・市川次長から挨拶 学校教育部：関根次長は不在ながら新たに着任した旨報告</p>
事務局	<p>◇70 周年記念特別展への感想/提言 見学後の感想や意見を委員に求めた。</p>
委員	<p>小学 3・4 年が社会科で郷土を学ぶ副読本があるが、わかりやすいので 展示担当者にご覧いただきたい。</p>
委員	<p>解説があると展示が立体的になるのでセルフガイドシートがあるとよい。 週代わりで一品展示したり、動画の配信など発展する可能性がある。</p>
委員	<p>資料が見やすく整理されていた。所蔵物品が活かされて良かった。</p>
事務局	<p>配布資料の確認</p>
会長（議長）	<p>運営協議会条例第 6 条により会長が議長となり進行。 ①傍聴者の有無を確認（傍聴者なし） ②会議の記録方法を再確認（要約式・議長による確認とする）</p>
議長（会長）	<p>議事（1）生涯学習推進センター事業の進捗状況について 議事に入る。事務局より説明していただきたい。</p>

事務局

事業進捗状況について、資料 1 に基づき各グループリーダーから説明。

(1) 総務グループより

資料補足事項

- ・ 翔びたつひろばについて、休刊した 6 月号で掲載を希望していた 7 団体の記事はホームページでの情報提供することで理解を頂いた。
- ・ コロナの影響で記事が少ないからこそ発信できた取り組みがあった。人材バンクの記事を掲載後には登録希望者が増えた。また、10 月号掲載の「みどりの中のギャラリー」は特に好評だった。
- ・ 出前講座は、電子申請システムを採用し改善した。
- ・ IT 相談は、相談再開を望む声がとても多かった事業で、フェイスシールド消毒などの対応を実施している。”

(2) 事業グループより

資料 1 に基づき説明

- ・ 市民大学の開催をコロナウイルス感染予防の観点から延期・再開した。
- ・ リモート講座の開催について研究中である。”

(3) ふるさと研究グループより

資料補足事項

- ・ 開催中の 70 周年記念特別展の PR として、市役所ロビーでプレイベントを実施。
- ・ 1 月に「昔さがし展」を企画実施予定
- ・ 講座/体験学習
星空フェスティバルは例年 800 人が集まるイベントなので、コロナ感染リスクを考慮し中止とし、人数を限定した星空観望会を計画している。
- ・ 三ヶ島葎子資料室
11 月 24 日に資料室運営協議会を開催する予定。
- ・ 資料調査収集 保存活用（ところざわ歴史物語）
平成 17 年に発行し、19 年に増刷したが 30 年に完売したので 18 年以降の情報など 16 ページを加えて増補改訂版として 12 月 1 日に発売する。

生涯学習推進センターの 3 グループからの報告は以上です。

議長（会長）	質問や意見はあるか。
委員	来年度に向けた事業の計画は、コロナ感染拡大がある前提か無い前提か。
事務局	<p>事業は実施する前提で予算積算はしているが、開催方法としては定員を減らして企画すべきかと考えている。合わせて動画配信についても調査検討をしている。</p> <p>動画配信等の検討をしているが、コロナ感染拡大の有無に関わらず、対面による学習と動画配信の両方を実現できるよう研究をしている。</p>
委員	<p>人との距離をとるため、定員が半分くらいになるよう施設を借用している。市民会議の講演では、2階と3階の2か所で参加者を収容し、モニター越しに視聴してもらっている。</p> <p>これまで、生涯学習推進センターに来て学ぼうとしている人は、動画などの遠隔受講よりも、対面であること、直接話しあえることが意味のあることだと考える。</p> <p>施設の運用を工夫して対応できないものか。</p> <p>施設の定員など、コロナ対応にまつわる制限についてはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>配布した資料「留意事項」にあるように、最低でも1メートルの距離をとること、可能であれば2メートルの距離をとることが望ましいとしており、部屋毎の定員を挙げてはいない。</p>
委員	<p>翔びたつひろばの「みどりのギャラリー」は市民目線で興味を持てた。普段歩いていた場所に新しい気づきが生まれた。展示の説明というのは、心に郷土愛の種火へ息を吹き込み興味を引き出すものだった。</p> <p>秋草学園の学長は、化学の話から人生論まで語ることができる。地域貢献への思いがあるので、講師として呼ぶ機会があれば相談してほしい。</p>
議長（会長）	<p>いきものふれあいの里では、来訪客が増えているそうだが、コロナ対策はどのようになっているのか、参考までに話してもらえないか。</p>
委員	<p>客が9月、10月くらいから来場者が増えており、これまでの3倍近い客が訪れている。自然観察などのフィールドをどこにとるか悩ましい。現在は訪れる団体の、性格に合わせた対応をとっている。</p>
事務局	
議長（会長）	<p>議題、「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「（仮称）郷土資料等収蔵施設整備計画」策定のための庁内検討調整会議の現状と今後について、ワーキンググループなどで検討し、収蔵施設設置の機運が醸成しようとしている。来年度は有識者会議を開催し、検討を重ねてゆく予定であることを報告。 ・生涯学習推進センターは3エリアから構成されているが、専門性を高めるため、以下の三組織について統廃合を研究していることを報告。 <ul style="list-style-type: none"> ①文化財保護課とふるさと研究グループ ②教育臨床と学校教育課 ③生涯学習推進センターと社会教育課 <p style="margin-left: 20px;">①文化財保護課との組織統合の現状</p> <p style="margin-left: 40px;">統合に向けた準備をしている。具体的には、本庁の文化財保護課が当センター4階に移設するが組織としては「ふるさと研究グループ」が文化財保護課に入る。</p> <p style="margin-left: 40px;">統合することで、市民に対して窓口を一本化することとなり、わかりやすくなること、一体的に収蔵施設の整備を進められることがある。本庁舎では、開発にともなう遺跡についての照会にどのように対応するかが懸案事項であったが、庁舎外の埋蔵文化財調査センターで対応を図ることと、ネットで検索可能なシステムを構築するなどの対応を研究していく。</p> <p style="margin-left: 20px;">②教育臨床エリアは、学校教育課への事務移管を検討している。</p> <p style="margin-left: 40px;">事務的には現状と変わらない。</p> <p style="margin-left: 20px;">③ふるさと研究と臨床を除く生涯学習推進センター部分と社会教育の統合も視野に入れ、事業の見直しを含め検討をしていることを報告。</p>
議長（会長）	<p>質問や意見はあるか。（質疑/意見なし）</p> <p>最後に私から、参考までに一言。</p> <p>様々の取り組みをしているなかで、気軽に展示などを見に来ることが困難な立地であると思う。ところバスなどのルートが、このセンターに組み込まれると、市民により身近な施設として認知されるのではないかと思う。</p> <p>各委員からの質問が無いことを確認し、進行が事務局へ返された。</p>
事務局	<p>議事進行への御礼の後に、副会長の挨拶により閉会。</p>